

今年もやります。NPO法人愛福会

今年も高等教育機関コンソーシアム和歌山の協力を得てわかやま学講座を開催。

みんなで避難路について勉強してみませんか。タイトルは

「自分の命は自分で守る！」命を繋ぐ避難路講座

今福地区連合自治会では、各自治会で避難路を考えることを実施しています。今回、NPO法人愛福会では、各自治会で考えて頂いた避難路を検証する必要があるのではないか、との考えから高等教育機関コンソーシアム和歌山へ『「自分の命は自分で守る！」命を繋ぐ避難路講座』のタイトルで企画提案書を提出し、採択を受けました。

講師の方には、検証する区域として、地震時における津波、火災を想定して考えて頂くことになります。時間的に全自治会の避難路を検証できませんが、災害時には連合自治会に関係するすべての機関の連携が必要となります。自治会長、各種団体長初め、多くの住民の方に参加していただきたいと考えております。地区以外の方の参加も大歓迎ですので、ご遠慮なく参加してください。

講座は全4回を予定しております。

第1回講座

テーマ：『自分たちのまちを知ろう。』

内 容 ○まちの現状調査報告（災害危険度判定）

講 師： 和歌山大学システム工学部環境システム学科准教授 小川宏樹 氏
＜講師プロフィール＞

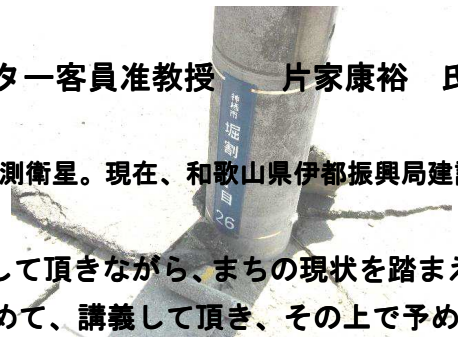
工学博士、専門分野は都市デザイン。現在は集約型都市構造の構築による中心市街地再生と、継続居住性を考慮した郊外住宅団地の再編に関する研究を行っておられます。平成24年に行った「まちづくりワークショップ」に参加して頂き、昨年の講座第1回目の講師もお願いしました。小川先生には、予め今福地区の一部に地域を調査して頂き、震災に強い都市づくり・地域づくりの観点から現時点での地域でどのような危険性があるかを科学的に分析して頂き、評価して頂きます。

○避難路の検証手法と進め方

講 師： 和歌山大学防災研究教育センター客員准教授 片家康裕 氏
＜講師プロフィール＞

専門分野は地域防災、災害対応、防災教育、観測衛星。現在、和歌山県伊都振興局建設部工務課課長。

片家先生には、まちの現状調査報告を考慮して頂きながら、まちの現状を踏まえて、どのように避難路を考えるのか、一般論も含めて、講義して頂き、その上で予め選定して頂いた地区での避難路の検証手法とその進め方を講義して頂きます。



- ・ 開講日時 平成26年9月27日（土）
午後1時30分～午後3時30分
- ・ 開講場所 和歌山市立西和中学校多目的ホール
和歌山市砂山南3丁目3番9号

連絡先 NPO法人「愛福会」代表 中西 俊五
TEL・FAX 073-424-4608



第2回講座

テーマ：『避難路検証その1』

- 内 容 講座内容の説明
選定した避難路での現状での実証実験
問題点の検証と改善策

- ・ 日 時 平成26年10月11日（土）午後1時30分～午後4時00分
- ・ 場 所 和歌山市立今福小学校多目的ホール



第3回講座

テーマ：『避難路検証その2』

- 内 容 講座内容の説明
震災が起こったと仮定した避難路での実証実験
問題点の検証と改善策

- ・ 日 時 平成26年10月18日（土）午後1時30分～午後4時00分
- ・ 場 所 和歌山市立西和中学校多目的ホール



第4回講座

テーマ：『そして、避難路が完成した』

- 内 容 地区の実情に合ったより安全性の高い避難路の考え方
人任せにしない、自分の命を守るための避難路の確保と避難路を
維持するための継続的取組み

- ・ 日 時 平成26年11月1日（土）午後1時30分～午後3時30分
- ・ 場 所 和歌山市立今福小学校多目的ホール



*使用した写真は、和歌山市の南海トラフでの津波浸水想定図と千葉県、茨城県の東北震災直後の液状化の状況